

科目名	診療・治療関連技術Ⅲ (罨法・呼吸管理)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	2年前期 令和8年	単位数/時間	1 単位/30 時間 「診療・治療関連技術Ⅲ」の科目を構成する各単元の授業時間は以下のとおり ・ <u>罨法・呼吸管理:16時間</u> ・ 創傷ケア:8時間 ・ CE 機器:6 時間
担当講師名	千葉勝子	所属・役職	宮古高等看護学院・看護教員
		資格・免許	看護師・助産師
授業の概要	診療・治療を受ける看護の対象の援助に必要な基礎看護技術を習得する。		
到達目標	① 酸素療法の目的と方法を理解し、中央配管方式と酸素ボンベによる方法について学ぶ ② 喀痰の目的と方法を理解し、体位ドレナージや喀痰介助法などの援助方法を学ぶ ③ 一時的吸引の目的と方法を理解し、その援助の実際を学ぶ ④ 胸腔ドレナージの目的と方法を理解し、その援助の実際を学ぶ ⑤ 吸入の目的と方法を理解し、ネブライザーを用いた場合の援助を学ぶ ⑥ 体温調節機能に異常をきたした人への援助を学ぶ(罨法含む)		
事前学習内容	解剖・生理学の呼吸器を復習しておく		
成績評価の方法	呼吸管理 60 点／点(創傷ケア・CE機器と合わせて 100 点満点)		
使用テキスト	・系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第 19 版【電子版】 version2 (医学書院) ・看護技術プラクティス		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	呼吸の基礎知識		講義
第 2 回・第 3 回	①酸素療法(酸素吸入療法)援助の基礎知識・援助の実際 ②排痰ケア排痰ケアの基礎知識 援助の実際 ・体位ドレナージ・一時的吸引・持続的吸引		講義
第 4・第 5 回・	①酸素療法の実際 ②排痰ケアの実際		演習
第 6・第 7 回	体温調節の基礎知識・罨法の実際		講義
第8回	まとめ		演習
履修上の留意点	・授業の予習・復習を行い疑問点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識・技術の習得に努めること。 ・演習の際は、看護技術の習得に向けて積極的に取り組むこと。		